

## 第1回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会議事録

日 時	平成 29 年 7 月 3 日(月) 午後 3 時から午後 4 時 30 分
場 所	柏原市役所別館 3 階 フローラルセンター会議室
出 席 者	<p>(柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○石橋委員 (柏原市健康福祉部兼こども未来部)</li> <li>○市川委員 (柏原市政策推進部)</li> <li>○大村委員 (市民)</li> <li>○河村委員 (大阪教育大学)</li> <li>○重森委員 (関西福祉科学大学)</li> <li>○杉山委員 (株式会社りそな銀行柏原支店)</li> <li>○谷委員 (柏原市労働組合協議会)</li> <li>○脇田委員 (柏原市市民部兼にぎわい都市創造部)</li> </ul> <p style="text-align: right;">(50 音順)</p>
欠 席 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○石村委員 (パナソニックサイクルテック株式会社)</li> <li>○斉藤委員 (JA 大阪中河内農協)</li> </ul> <p style="text-align: right;">(50 音順)</p>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山口 政策推進部理事</li> <li>○瀬田 政策推進部次長兼企画調整課長</li> <li>○山本 企画調整課参事兼課長補佐</li> <li>○峯 企画調整課主査</li> <li>○大井 柏原市商工会事務局長</li> </ul>
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員及び事務局の紹介</li> <li>・委員長及び副委員長の選出について</li> </ul> </li> <li>2 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 推進委員会開催の目的について</li> <li>(2) 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と効果検証について</li> <li>(3) 地方創生推進交付金の活用について</li> </ol> </li> <li>3 その他</li> <li>4 閉会</li> </ol>

## 1. 開 会

	<p>○委員会成立報告 委員 8 名出席により、推進委員会規則第 5 条第 2 項の規定に基づいて、委員会が成立していることを報告。</p> <p>○委員及び事務局の紹介</p> <p>○委員長及び副委員長の選出 委員長：市川委員 副委員長：脇田委員</p>
--	---

## 2. 議 題

委員長	<p>開会挨拶</p> <p>本日はご多忙の中、ご出席いただき感謝申し上げます。本日は、柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の進捗状況や効果を検証し、新たに展開していく部分もあると思うが、審議をよろしくお願ひする。</p>
事務局	<p><b>【資料確認】</b></p> <p>会議次第</p> <p>資料 1 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会について</p> <p>資料 2 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 進捗状況一覧表</p> <p>資料 3 市の現況について（人口の推移等）</p> <p>資料 4 地方創生推進交付金の活用について</p> <p>資料 5 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会スケジュール</p> <p>参考資料 柏原市統計書（2016 年版）</p> <p>参考資料 委員会名簿</p>
委員長	<p><b>【議事進行】</b></p> <p>（1）推進委員会開催の目的について</p>
事務局	<p>（事務局 説明）</p> <p>資料 1 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会について</p>
委員長	<p>事務局の説明に対して、意見又は質問等を伺う。</p> <p>（意見、質問なし）</p>
事務局	<p>（2）柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と効果検証について</p> <p>（事務局 基本目標ごとに説明）</p> <p>資料 2 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 進捗状況一覧表</p>

事務局説明 委員長	<p>《基本目標1 子育て環境ナンバーワンのまち かしわら》 事務局の説明に対して、意見又は質問等を伺う。</p>
A 委員	<p>目標指標「市内に所在する大学との連携事業数」で最終的に4事業が減少したが、その理由としては、大学側から連携事業を終了する意向が示されたのか。</p>
事務局	<p>平成27年度に地方創生交付金を利用した、単年度の事業が終了したことが大きい。交付金を利用した事業であるため、継続できない事業の数が減少となった。</p>
A 委員	<p>継続して行う必要がある事業については、本大学において、公認プログラムに位置付けることで実施費用を負担することが出来るため、相談いただければ、前向きに対応することが可能である。</p>
B 委員	<p>モノづくりの立場からしても、労働人口の減少が問題視されている中で、人を定住させる為の将来的なビジョンについて伺いたい。</p>
事務局	<p>総合戦略の中で定住に係る施策を積極的に実施していかなければならないことは認識している。婚活イベントで複数のカップルが成立している実績はあるが、その後の施策について展開できてない課題がある。</p> <p>後に説明するが、平成29年度の地方創生推進交付金の中で、子育て世帯の定住を図ることができる事業や中古住宅購入の際の補助を行う事業を予定しており、このような事業を行うことで本市を知ってもらい、永く住んでもらうように、今後更なる検討が必要であると考えている。</p>
事務局説明	<p>《基本目標2 働きやすいまち かしわら》</p>
委員長	<p>事務局の説明に対して、意見又は質問等を伺う。</p>
C 委員	<p>観光振興イベント参加者数の中で、観光ブドウ来場者の減少について、もう少し分析する必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>先ほど申し上げたとおり、担当課からは天候や日程等の影響による減少と聞いているが、具体的な状況や視点を変えた理由については、委員指摘を踏まえた上で、再度、担当課と分析を行う。</p>
A 委員	<p>目標指標「大学と連携した合同会社説明会参加者数」が未実施であ</p>

事務局	<p>るが、今後の予定について伺う。</p> <p>具体的な日程等は、申し上げることはできないが、柏原市商工会やハローワークと連携し、実施に向けて検討していきたい。</p>
A 委員	<p>本大学は、専門職が多いため、就職先にはあまり困っていない状態であるが、今後、心理科学部教育学部の学生が4回生になった時にはこの施策の需要が高くなるので、検討していただきたい。</p>
B 委員	<p>目標指標「創業者数(年間)」で18人の方が創業したという実績があるが、どのような分野で創業したのかを伺う。</p>
事務局	<p>どのような分野までは把握していないため、担当課に確認し、確認が取れ次第、情報提供を行う。</p>
事務局説明	<p>《基本目標3 住みたい 住み続けたいまち かしわら》</p>
委員長	<p>事務局の説明に対して、意見又は質問等を伺う。</p> <p>(意見、質問なし)</p>
事務局説明	<p>《基本目標4 暮らしやすいまち かしわら》</p>
委員長	<p>事務局の説明に対して、意見又は質問等を伺う。</p>
A 委員	<p>目標指標「買い物支援事業利用者数」について、未実施であるが、大学と連携してまちづくり事業として実施している団体も多く、事業の内容が学生の勉強となるのであれば、本学としては実施できる可能性が高いと考えるため、担当課の地調整の上、検討していただきたい。</p>
D 委員	<p>目標指標「まちづくり意見交換会参加者数」の効果が5つの事業案を設定となっているが、その後の状況について伺う。</p>
事務局	<p>担当課に確認したところ、5つのグループに分けて事業案を設定したが、1つのグループについては、現在も継続して事業について検討を行っている。</p>
B 委員	<p>目標指標「住みやすい(暮らしやすい)」と答える人の割合、「健康づくりにおける満足度」が低下しているが、基本目標3の目標指標「市外への転出者」で目標値に達成するためにも、転出者が多い理由の分析等を行うことで、課題を解決する戦略を立てやすくなると</p>

委員長	考える。 昨年1年間の取組により市の状況にどのような変化があったか、市の現況の報告をお願いします。
事務局	(事務局 市の現況について説明) 資料3 市の現況について (人口の推移等)
委員長	事務局の説明に対して、意見又は質問等を伺う。
A 委員	5ページ「(3) 5歳階級別人口比較」の中で16歳から20歳の人口が微増し、21歳から25歳の人口が大きく減少している原因としては、大学入学時に柏原市に転入し、就職時に市外へ転出しているということが考えられるがどうか。
事務局	委員お見込のとおり。
E 委員	3ページ「(4) 将来人口推計」の中で、2060年時点の社人研(国立社会保障・人口問題研究所)が推計した39,903人と市が設定した目標人口である54,381人に乖離があるが、この乖離をどのように埋めていくのか伺う。
事務局	目標人口については、2010年時点の国税調査の人口を基に設定したが、2015年時点で目標より少し低い数値となっている状態である。 地方創生関係交付金を利用し、本市の弱みを克服し、また強みを活かした施策を実施し、できる限り目標値に近い人口を目指していく。 現時点では、人口ビジョンの見直しは予定していないが、今後、国の動きの中で見直しの必要が出てきた際には、検討が必要である。
A 委員	社人研の推計とおりの人口にならないためにも、未実施の大学と連携した合同会社説明会を開催し、就職時の人口の転出を防ぐ必要があると考える。
C 委員	2ページ「(3) 3区分別人口の前年との比較(3月31日時点)」の中で、平成29年3月31日時点の男女の人口差は3,000人弱であるが、その要因となっているのは65歳以上の男女の人口にあると考える。 女性が11,165人であるのに対し、男性が8,514人というこの差は、女性の健康に対する意識の高さが感じられるが、男性の人口が大幅に低い理由が健康的な問題であるのか柏原市特有の理由であるのかが気になる部分である。

委員長	<p>総合戦略を策定して3年目となった。さきほどの市の現況を見ても、出生は相変わらず減少傾向にあるが、年少人口と生産年齢人口の減少割合は一昨年から昨年の変化と比較すると小さくなっているということで、転入増もしくは転出減の傾向があるよう考える。今後は、この傾向を維持し、できれば出生が増えるような取組が出来ればと思うが、その点について事務局は何か考えがあるのか。</p>
事務局	<p>出生については、人口減少が進む中において、なかなか実現することが困難な課題であると感じている。しかし、後ほど議題3で説明するが、現在、国の地方創生推進交付金を活用した事業を今年度中に新たに実施する予定をしている。内容は、子育て中の母親が子育てしながら働くことのできる環境を構築するもの。これは、総合戦略を策定する際のアンケート調査や、それ以前の子ども・子育て支援に関するニーズ調査の中で、育児休業を取りにくいために仕事をやめざるを得ない状況で働けなかったことや、経済的な問題や子育て環境の問題から理想通りの子どもを産むことができないと感じている人が多いことがわかった。このことから、そういった問題を解決する糸口になるような取組として今回の新たな事業を実施し、子育て世代への新たな働き方を構築することで、更なる雇用の創出と子育て支援をおこなうものである。</p> <p>また、同じく若い世代の定住を促進する取組として、家賃補助を行う予定である。これは、総合戦略の基本方針に基づき、3世代の同居、隣居、近居を条件として、中古住宅を取得された方に補助を行うというもので、空き家対策も図れるものと考えている。</p> <p>このように、総合戦略を推進する事業を実施するが、来年度に向けても、今後、市の事業実施計画を作成する中で、事業担当課からの提案を受けながら取組を推進していきたいと考えている。この点につきましては、推進委員の皆様からのご提案をいただきながら、現在取り組んでいる事業の見直しや、新たな事業を検討していきたいと考えている。</p>
委員長	<p>事務局の説明に対して、意見又は質問等を伺う。</p> <p>(意見、質問なし)</p>
委員長	<p>(3) 地方創生推進交付金の活用状況について</p>
事務局	<p>(事務局 地方創生推進交付金の活用状況について説明)</p> <p>資料4 地方創生推進交付金の活用について</p>

委員長	事務局の説明に対して、意見又は質問等を伺う。
B 委員	テレワーク事業の業務内容はどのようなイメージかを伺う。
事務局	<p>資料記載のとおり、事業所内に託児スペースとワーキングスペースを設け、コールセンターや比較的作業がしやすい内容の業務をしていただく予定である。市内在住の母親をターゲットにし、子育てしながら働ける場所を提供するため時間の制限がある正社員という形ではなく、アルバイトでの雇用をイメージしている。</p> <p>保育事業というわけではなく、あくまでも託児であるので、食事の世話等は母親と一緒にとっていただき、母親が託児スペースの子どもを見守りながら、ワーキングスペースで働くというものである。</p>
委員長	<p>交付金に関しては、昨年度から活用して取り組んでいる広域による観光分野に加え、今年度は多世代交流推進と母親労働拠点創出事業が新たな交付金事業として採択されたということで、ようやく地方創生に特化した先駆的な取組を行うことができるので、来年度の検証時に効果が現れるよう、事業をしっかり構築していただきたい。</p> <p>これで議題は終了となるが、他に何か意見等を伺う。</p> <p>(意見、質問なし)</p>
委員長	<p>事務局においては、本日の委員会での意見等を踏まえて、総合戦略の見直しを進めていただくようお願いする。</p> <p>最後に、今後の予定について、事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>(事務局 柏原市まち・ひと・しごと創生総合推進委員会スケジュールについて説明)</p> <p>資料5 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会スケジュール</p> <p>本日は、総合戦略の進捗状況について検証していただき、また今後の推進に向けた貴重なご意見を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>今後の予定については、本日の検証に基づいて総合戦略の見直し等、内容の検討を進めていく。来年度の取組についても検討していきたいと考えているが、事業担当課における計画作成時期が8月下旬から9月となるため、第2回委員会をその時期に開催して、新たな施策や事業についてご提案等をいただき、事業担当課に委員会の提案を示して行きたいと考えている。</p> <p>その後、総合戦略の見直しや新たな提案に伴う総合戦略の内容の改訂を行い、平成30年2月から3月頃に第3回委員会を開催し、改訂版</p>

委員長	<p>を提示したいと考えているので、委員の皆様には、今後も、引き続きご意見等を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>只今の事務局からの説明のとおり、次年度の事業実施計画作成とその検討時期である8月か9月に提案等の意見交換、来年2月か3月に総合戦略の改訂版の確認作業を行うことで、委員会として了承するというところでよろしいか。</p>
委員長	<p>(異議なし)</p> <p>他に何も意見がなければ、本日の会議を終了させていただく。</p> <p>貴重な意見を頂戴し、感謝申し上げます。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。</p>